

普及活動情勢報告（平成29年9月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

ユリ類の安定生産をめざして

～ユリ類基礎技術 ミニ講座～



新しい遮熱資材について学ぶ

農業改良普及課では、若手の花き農家を対象としたユリ類基礎技術の勉強会を継続して開催しています。8月30日に、前回（7月18日）の勉強会を補足する内容として「高温対策と土壌管理」のミニ講座を開催し9人の農家が参加しました。

参加者は、高温対策の資材等の内容を熱心に聴講し、特に参加者同士の情報交換が活発に行われました。

農業改良普及課は、今後も引き続き勉強会を開催し、管内のユリの安定生産と若手経営者の育成を進めて行きます。

平地で穫れる、良食味米「土佐岩戸米」の魅力を県外消費者に情報発信！

～高知県アンテナショップで今年の新米を試食宣伝してきました～



生産者による試食宣伝

土佐岩戸米営農組合は、集落営農の活動の一つに米のブランド化に取り組んでいます。9月2日東京都銀座にある高知県アンテナショップ「まるごと高知」で初めて県外での試食宣伝を行いました。

生産者を中心に試食用ミニおにぎりの試食宣伝、販売、食味アンケートを行い、土佐市、農業改良普及課らが支援しました。「冷涼な地下水を利用し、適正な肥培管理に取り組み、昨年度は全国食味コンクール早場米部門で金賞を受賞しました！」との紹介に200人以上が試食し、アンケートでは174人中158人から「美味しい」と評価を得ました。

農業改良普及課は今後も引き続き、集落営農組織の組織活動の活性化と県産米ブランド化推進を支援します。

施設園芸の環境制御技術の普及推進・技術の向上を目指します

平成29年度中央西地区・度環境制御技術に関する実証ほ成果発表会を開催～



実証担当指導員による成果発表

中央西農業振興センターでは、主要品目（キュウリ、トマト、ニラ、ピーマン）で環境制御技術現地実証ほを設置し、技術の普及・向上を進めています。9月22日に成果の発表会と併せて担当専技による「環境測定装置の活用事例」講演会を開催しました。

参加者は、農家の出席がやや少なかったのが残念ですが、関係機関も含め33人の出席でした。1年間の実証ほ担当農家の協力のもと、実証された成果が報告され、予定時間を超過して、質疑が活発に行われました。

農業改良普及課は今後とも関係機関と連携し、環境制御技術の普及を進めます。